

物的被害状況 (11月21日時点)

※人的被害なし

住宅等	①浸水害 住家 16戸(床上14戸、床下2戸)、非住家 12戸(物置等) ②風害等 住家 3戸
農作物(冠水)	水稻 17ha 被害額 10,456千円 果樹 49.3ha 被害額 103,192千円 畑 12ha 被害額 23,433千円 林檎落下 8ha 被害額 9,657千円
農地(土砂堆積)	田 7.5ha、畑 18.5ha
公共土木施設	町道法面崩落 9カ所、路肩洗堀 3カ所、舗装面の流失・剥離 3カ所、側溝流失 1カ所、土砂流入 2カ所、通行止め(欠下橋) 1カ所
農林土木施設	林道法面崩落等 3路線、用排水路損壊 6カ所、大枝排水機場機器、農地等法面崩落 12カ所
その他公共施設	被害確認なし
県管理施設	河川 滝川堤防破堤 施設 県北浄化センター場内浸水により機能停止 道路 白石国見線の宮城県側が通行止め



台風19号のつめあと vol.2

台風19号で国見町は大きな被害を受けました。中でも基幹産業の農業は深刻な状況です。今月号では被害状況や二人の農業者へのインタビューなどをお伝えします。

撮影 国土交通省東北地方整備局

① 県北浄化センター周辺(10月14日撮影) ② 倒れた桃の木にゴミが絡まっている様子(11月19日撮影) ③ 冠水した畑の大根(11月18日撮影) ④ 冠水状況(和平橋より徳江字前原地区。10月13日撮影) ⑤ 冠水で道路の舗装が剥離(徳江字前原地内。10月14日撮影) ⑥ 路肩が洗堀(徳江字古川地内。10月14日撮影) ⑦ 県からの権限代行により国(国土交通省東北地方整備局)が決壊した滝川の堤体を埋戻し、遮水シートと護岸ブロックを敷き詰め補強。11月7日完了



みなさんから寄せられた支援

台風19号被害の復旧に役立ててほしいと、たくさんの方々から支援が寄せられました。

寄付

- 国見太陽光発電所企業組合…3万円
- 「ふたり」石崎紀彦…1万円
- 株式会社カタログハウス…4万8千円あまり
- 国見ライオンズクラブ…10万円

支援物資

福島信用金庫…タオル 150枚、軍手 100組



台風被害に対する要望活動

町は、早急な復旧に向けて、国や県、関係機関への要望活動を行っています。

- 11月1日、阿武隈川上流改修促進期成同盟会(流域の県下13市町村で構成)として太田久雄町長が内閣府などへ緊急要望活動。
- 11月2日、江藤拓農林水産大臣が来町し、桃畑の被害状況を確認。佐藤弘利副町長が支援を要望。
- 11月15日、太田町長が松崎浩司福島県農林水産部長や猪股慶蔵福島県土木部長などを訪問し、復旧や農業再生などに対する支援を要望。



松崎農林水産部長(左)と猪股土木部長(右)へ要望書を手渡す太田町長

さまざまな野菜を栽培している八巻忠一さん。今回の台風で約1ヘクタールの畑のうち、ビニールハウス4棟を含めた7割の畑が冠水。また、倉庫やトラクターなどの器具や資材類も大きな被害を受けました。

冠水して色が変わってしまったキュウリを見つめながら「収穫が目前だった秋野菜のほとんどが出荷できなくなってしまった。今は被害がなかった畑の野菜を道の駅などへ出荷しているが、例年だと一日に何度も出荷していたのに、今は収穫から出荷作業がすぐ終わってしまい、張り合いがない」と肩を落とす八巻さん。「心配ごとはたくさんあるが、来年の春野菜や秋野菜が以前のように収穫できるように頑張っていきたい」と話してくれました。

野菜農家
やまき ちゅういち
八巻 忠一さん

井砂善榮さんは桃、あんぽ柿、米、りんごなどを栽培しています。今回の台風では桃畑の被害が大きく、約4ヘクタールのうち3ヘクタールが冠水しました。桃畑は最大で4メートル近くまで冠水し、桃の木が見えなくなるほどに。今でも木の枝の先にはゴミが絡まっています。

「被害が大きかった園地は、良い桃が採れる場所だった。37年間桃を育ててきたが、以前のような桃が採れるまでにどのくらいの年数がかかるか全く見当がつかない」と井砂さん。

それでも息子さんが新たに農業を継いでくれたばかりだという井砂さんは「下を向いていても仕方がない。息子と二人で頑張っていきたい」と前を向いています。

桃農家
いざご よしえい
井砂 善榮さん